

2015年8月10日配付

みぽ × MBS
ラジオ
PRESENTS

「韓日食博」を極める!

特別展「韓日食博—わかちあい・おもてなしのかたち」関連イベント

モデル

アナウンサー

国立民族学博物館教授

アンミカ × 山中真 × 朝倉敏夫

9月13日(日) トークイベント開催!



アンミカ (モデル・タレント)



山中真 (毎日放送アナウンサー)



朝倉敏夫 (国立民族学博物館 教授)

国立民族学博物館(大阪府吹田市)では、特別展「韓日食博—わかちあい・おもてなしのかたち」関連のトークイベントを開催します。

本イベントでは、韓国観光名誉広報大使、初代大阪観光大使に任命されるなど日韓交流の懸け橋としても活躍しているファッションモデルのアンミカさんと、テレビ番組の企画で世界を旅する毎日放送の山中真アナウンサー、韓国の食文化や海外コリアン研究を専門とする本館教授・朝倉敏夫が、楽しく「韓日食博」展の魅力に迫ります。話題は、特別展にとどまらず韓国の「食」や「美容」など多岐にわたります。

[開催概要]

開催日：2015年9月13日(日)

開催時間：14:15～15:30(開場13:45)

場所：国立民族学博物館 講堂(定員450名)

参加無料/事前申込不要(先着順)

主催 国立民族学博物館 協力 MBS ラジオ

出演：アンミカ(モデル・タレント)、山中真(毎日放送アナウンサー)、朝倉敏夫(国立民族学博物館 教授)
司会：古川圭子(毎日放送アナウンサー)

【プロフィール】

出演：
アンミカ

韓国出身・日本育ちのモデル・タレント。

93年にパリコレクションに初参加以後、様々なファッションショーやファッション誌、広告、CF出演等で活躍。また、テレビ・ラジオ・トークショー・エッセイ執筆・シンガーとしての活動、化粧品のプロデュース、自己表現やマナーの講演会を開くなど、多方面において才能を発揮。「韓国観光名誉広報大使」、「初代大阪観光大使」に任命されるなど日韓交流の懸け橋としても活躍している。趣味・特技は、韓国語、ボーリング、ダンス、茶道、など。

山中真（やまなか まこと）

毎日放送アナウンサー。1976年11月20日生まれ、東京都出身。早稲田大学から2001年に毎日放送入社。担当番組はテレビ「ちんぷいぷい」（月～金・午後1:55）。趣味は、人でもモノでも場所でも体験でも新しいことと出会うこと、バスケットボール、ドライブ。

朝倉敏夫（あさくら としお）

国立民族学博物館教授

東京都出身。1970年代末から韓国社会を家族と食の視点から研究・調査してきた。韓国の食と社会に関する著書も多く、多数の韓国テレビドラマの日本語版監修をしている。2013年に韓国政府から玉冠文化勲章を受章。特別展「韓日食博—わかちあい・おもてなしのかたち」実行委員長。

司会：

古川圭子（ふるかわ けいこ）

毎日放送アナウンサー。豊中市出身。神戸女学院大学卒業。毎日放送1993年入社。過去にMBSテレビ「みんなくアワー」では進行役を務めた。趣味は遊園地、水族館、動物園めぐり。二児の母。担当番組 テレビ「ちんぷいぷい」、ラジオ「子守康範 朝からてんコモリ!」ほか。

【参考】

特別展「韓日食博—わかちあい・おもてなしのかたち」

日韓国交正常化50周年を記念して、「韓国と日本の食文化と博物館」をテーマとした特別展を韓国国立民俗博物館と共同で開催します。韓国と日本の50年間の「食」の変化と、「食」の背景にある文化の共通点と差異を探ります。五感で味わう新しい「食」の展覧会です。



会 期：2015年8月27日（木）～11月10日（火）

10:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：毎週水曜日（9月23日は祝日のため開館、翌日9月24日は休館）

会 場：国立民族学博物館 特別展示館（大阪府吹田市千里万博公園10-1）

無料観覧日：9月12日（土）／9月21日（月・祝）／11月3日（火・祝）

主 催：国立民族学博物館、韓国国立民俗博物館

共 催：大阪工業大学、京都造形芸術大学、韓国芸術総合学校

協 力：大阪韓国文化院、一般社団法人千里文化財団

助 成：韓国国際交流財団、日本万国博覧会記念基金（公益財団法人関西・大阪21世紀協会）、公益財団法人日韓文化交流基金

観覧料：一般830円(560円) 高校・大学生450円(250円) 小・中学生250円(130円)

*（ ）内は、20名以上の団体・割引料金。学校団体は本館展示観覧料と共通（高校・大学生200円、小・中学生90円）

お問い合わせ 国立民族学博物館 総務課 広報係

電話：06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp プレス向けサイト www.minpaku.ac.jp/press